

各位

会社名 株式会社西武ホールディングス
代表者 代表取締役社長兼COO 西山隆一郎
(コード番号: 9024 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員広報部長 多々良嘉浩
(TEL. 03-6709-3112)

株式会社AirXへの出資について

当社の連結子会社である株式会社ブルーインキュベーション（本社：東京都豊島区、代表取締役：原田武夫）は、このたび、株式会社AirX（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：手塚究）の第三者割当増資を引き受けましたのでお知らせいたします。

1. 第三者割当増資の目的

今回の第三者割当増資は、全国各地に事業拠点を持つ西武グループと、空のモビリティ市場の成長を見据え、同分野における運営・販売に強みを持ち、空飛ぶクルマとも呼ばれるeVTOL（電動で動き垂直に離着陸が可能な機体）の将来的な活用を含めた運用プラットフォームを中心事業とする株式会社AirXが連携することで、当社グループの事業アセットを中心とした陸と空を有機的に繋ぎ、五感を揺さぶる体験価値の提供と、災害時対応を含めた持続的なモビリティネットワークを構築することを企図しています。

2. 株式会社AirXの概要

株式会社AirXは、『AirXが人の可能性を解放する』をミッションに掲げ、不自由な移動体験を解放し、時間のあり方を変え、人生の可能性を最大化できる社会を目指す会社です。

サービスの提供だけでなく、航空機、整備、格納、ヘリポート、地上接客、運航、予約管理、マーケティング、決済、システムなど、分離した要素をワンプラットフォームに垂直統合する開発を行い、国内大手企業や自治体との連携を拡大させながら、エアモビリティ社会のインフラ構築に向けて、幅広く事業を展開しております。

同社が運営するヘリコプターやプライベートジェットなどのエアモビリティの予約プラットフォーム「AIROS Skyview（エアロススカイビュー）」では、従来、予約完了までに約1週間を要していた手続きが、わずか5分で完了可能となり、固定の時間枠だけでなく、当日予約にも対応しています。さらに、多言語対応（日本語、英語、中国語、韓国語）や関東4県どこでも利用可能なヘリポートの整備、リーズナブルな価格設定により、幅広いお客さまにご利用いただける環境を構築しています。2024年には累計25,000組以上のお客さまにご利用いただき、国内最大規模のエアモビリティサービスプラットフォームへと成長を遂げています。

所在地	東京都千代田区麹町 6-6-2 番町麹町ビルディング 5F WeWork 麹町
設立年月日	2015 年 2 月
代表者	手塚 究
事業内容	旅行手配事業、航空運送代理事業
資本金	499,032,502 円 (2025 年 1 月末日現在)
HP	https://airx.co.jp/

3. 出資の背景について

当社グループは 2024 年 5 月に公表した「西武グループ長期戦略 2035」に基づき、マテリアリティの一つに定めた「五感を揺さぶる体験」の創造を目指しています。空のモビリティというまさに「五感を揺さぶる」移動の社会実装に向けて、これまで株式会社 AirX などグループ内外の関係者と連携を進めてまいりました。昨今のインバウンド旅行客の増加に伴い、ヘリコプターなど空のモビリティを活用した柔軟性の高い旅行体験を求める声がある一方で、就航地の少なさや単価のギャップから国内において同市場は発展途上にあります。当社ではこれまで複数回に亘る株式会社 AirX との実証実験を通じて、空のモビリティの活用がエリアの価値向上に寄与し、かつ一定の事業性を有する可能性を確認してまいりました。

当社グループが不動産やホテル、交通機関などの事業を各地に有する強みを活かし、地上のさまざまなサービスと空のモビリティを結び付け、時間や距離の制約から解放され、その目的地に行きたい、特別な体験がしたいというお客さまの想いを実現できるようなこれまでにない新たなおでかけの形の実現を目指します。同時に空の移動による即時性を活かした災害時対応のあり方も検討を進めます。将来の eVTOL 実装により、環境にやさしい空のモビリティがおでかけの選択肢の一つとして普及する未来の実現に向けて、今後も株式会社 AirX をはじめ、さまざまな関係者と協創を図ってまいります。

<これまでの株式会社 AirX との実証実験について>

- ・ 2019 年 7 月 : [東京から箱根・下田へ、ヘリコプター直行便を提供](#)
- ・ 2019 年 10 月 : [東京から軽井沢へ、ヘリコプター直行便と現地での遊覧飛行を提供](#)
- ・ 2024 年 11 月 : 軽井沢・プリンスショッピングプラザにて eVTOL の展示と VR 体験を実施
(後援 長野県・信州次世代空モビリティ活用推進協議会)

4. 今後の取り組みについて

今後の空のモビリティの市場拡大およびeVTOLの商用運航を見据えて、当社では引き続き離着陸環境と事業性の確認を進めてまいります。

直近では2025年3月22日（土）・23日（日）の2日間限定で、東京・軽井沢間の日帰りツアーを試験販売いたします。南軽井沢地域へのダイレクトなヘリコプターアクセスと非日常の体験を、片道・往復/小型機～大型機など豊富な選択肢の中からお選びいただくことができます。

軽井沢到着後は軽井沢 浅間プリンスホテルでランチ/アフタヌーンティーと温泉をお楽しみいただけます。浅間山を望む雄大な景色を、空から地上から、さまざまな角度でご堪能ください。

<販売プランについて>

日時：2025年3月22日（土）～23日（日）（最少催行人員2名、天候不順などで欠航あり）

場所：①往路 東京ヘリポート（東京都江東区新木場4丁目7）

⇒軽井沢 浅間プリンスホテル（長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢発地1399）

②復路 軽井沢 浅間プリンスホテル⇒東京ヘリポート

※プランの詳細につきましては以下よりご確認ください。

URL：<https://airx.airos.jp/karuizawa>

5. 株式会社ブルーインキュベーションの概要

商号	株式会社ブルーインキュベーション
本社所在地	東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
設立年月日	2020年5月1日
代表者	代表取締役 原田 武夫
事業内容	インキュベーション事業、新規事業の企画開発、支援及び運営に関する事業
資本金	1億円

以上